

令和元年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

理科

	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
5年	<p>○実験観察には意欲的だが観察実験の結果を整理し考察する活動において、科学的な見方や考え方が十分に育っていない。</p>	<p>○実験観察を重視し、科学的な視点を育て、結果を整理し考察する学習活動や科学的な言葉や概念を使って考えたり説明したりするなど学習活動を充実させる指導を目指す。</p>	<p>○ノートやワークシートを通して観察記録や実験データを表やグラフに表し活用し、科学的な言葉や概念を使い、自分の言葉で表現し、個人やグループで、考えたり説明したりする活動を取り入れる。</p>	<p>○ワークシートを使い、表やグラフに表したことで実験の視点がより明確になった。ノート指導については標準的な書き方を覚え、工夫も見られた今後はこれらを使い、他者に分かりやすい発表発言ができるようにしたい。</p>
6年	<p>○実験や観察は意欲的に取り組むことができるが、見通しもって課題を追求する力を伸ばす必要がある。</p> <p>○実験や詳しい観察を通して自分で発見したことや学習したことを科学知識（正しい科学用語）として確実に定着させる必要がある。</p>	<p>○現象の変化や働きについてどこからどのようにして推論したか、特に経験上こう考えたという表現の仕方についての育成に重点を置く。</p> <p>○意識して正しい科学用語を使うよう指導し、学習したことを適宜振り返り、知識として身につけられるようにする。</p>	<p>○学習課題を主体的に捉えられるように学習の場を設定し、実験方法を一人ひとりが考えられるようにする。</p> <p>○学習したことをノートやワークシート、レポート、発表によって表現する活動を通して、知識を深められるようにする。</p>	<p>○体験経験の少なさから、実験方法を自分たちで考えることはなかなか難しかったが、実験方法を教える、よりやりやすいと工夫が見られた。</p> <p>○理科で使う同じ単語、同じ言い回しに気をつけて書いたり発言させたりすることにより知識が深まってきた。</p>